

# 平成 19 年度第 3 回太子町行財政審議会議事録

日時：平成 19 年 8 月 2 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所：太子町役場 委員会室

平成19年度第3回太子町行財政審議会 議事録

1. 審議会の開催日時及び場所

日時：平成19年8月2日（木）

開会：午後1時30分

閉会：午後3時30分

場所：太子町役場2階 委員会室

2. 審議事項

水道料金の改定について

3. 委員の出席・欠席者

出席委員：門田 善二 森沢 栄彦 児嶋 正文 山本 俊博 富岡 敏明

上田 裕彦 森川 ちか子 伊藤 祐子 伊藤 道司

欠席委員：なし

4. 事務局及び説明員

事務局：総務部長 佐々木 正人 係長 森川 勝

町出席者：経済建設部長 富岡 慎一

上下水道事業所長 西村 隆志 上下水道事業所参事 藤原 好信

5. 審議会経過及び結果

別紙にて記載する。

1. 開会

2. 議事録署名委員の指名

会長が児嶋正文委員と山本俊博委員を指名

3. 水道料金の改定について

事務局：参考案について内容説明

会長：事務局の説明が終わりましたので、引き続き審議に入ります。ご質疑がございましたらどうぞお願いします。

森澤委員：使用水量の関係から聞くのですが、工場独自の井戸からどの程度揚水しているのか。

事務局：工場内の井戸からの揚水量については把握しておりませんが、水源としては、井戸、工業用水、上水道の3つの水源があると聞いております。単価が上がれば工場としても費用対効果の関係から地下水、工業用水への切替も考えられます。

会長：森澤委員が言われたように使用量の関係で大口使用者の単価が高くなると、使用量が減少し、改定する効果がないような結果も考えられるので、全体のバランスを考えることが必要である。

伊藤(道)委員：参考案を見ると、大口使用者の単価が他市町と比べても割高感はないように思いますので、生活用水に対して一定の配慮も必要であるのではないかと思います。

富岡委員：改定案はあまりにも直線的であったが、参考案は修正され、上げ幅等に苦心の跡が見受けられる。私はこれでいいと思います。ただ、生活する上で一番大事な水道料金が上がることは、一般家庭や営業されている方にとっては毎月の負担になると思うが、これはやむを得ないと思う。料金を見直そうとしたら合理的な方法で使用者の皆さんに納得して頂けるような範囲内の値上げにならざるを得ない。このことは、すでに修正されているので問題ないと思う。常識的には大口使用者に負担を求めることはやむを得ないと思う。

森川委員：上水道については26年間値上げをしていないので値上げはやむを得ないと思います。これに併せて下水道使用料も値上げするのですか。

事務局：平成17年度に面整備が完了し、平成18年度で舗装復旧をして供用開始をしています。平成21年度までが接続期間ですので、平成21年度までは現行使用料でいきたいと考えております。今後の会計状況を見ながら検討していきたいと思っております。

森澤委員：公平、公正に改正されるにしても、今後下水道の接続率の向上と併せて皆さんが納得されるような体制を考えていただきたい。

会 長：他に意見もないようですので、第1回、第2回、本日の審議会に出た意見を集約し、答申書を作成してよろしいか。(異義なし)

会 長：それでは、答申の作成のため、しばらく休憩します。

休 憩

町 長 入 室

会 長：それでは、再開します。  
町長に答申（門田会長が答申書を朗読し、町長に手渡す）

事 務 局：以上をもちまして閉会します。

この議事録が真正であることをここに署名する。

平成19年8月7日

署名委員

児嶋正文

山本俊博